



第18回 日本フットボールリーグ

セカンドステージ 第4節

対ラインメール青森戦

於名古屋市港サッカー場

予想布陣図屏風 (FCマルヤス岡崎蔵)

ラインメール青森 監督 葛野 昌宏

2nd-S 1位(勝点9) 「本拠地」陸奥国 青森市



FCマルヤス岡崎 監督 山村 泰弘
2nd-S 4位(勝点7) 「本拠地」三河国 岡崎市

津軽の青き新風 ラインメール青森

今シーズンからJFLで戦うラインメール青森。昇格決定後の短い準備期間や、開幕からのアウェイ6連戦というハンデを乗り越え、ここまで大健闘を見せている。特に1st-S終盤からは絶好調。雪国特有の不利も吹き飛ばし、JFLに青い旋風を巻き起こすことができるか。

荒武者と三河武士

ラインメール青森は3連勝で首位をゆく。前節では八戸を相手に青森ダービーを制した。津軽と南部の意地が火花を散らす一戦を白星で飾り、チームは更に勢いづいている。

とはいえマルヤスも好調をキープ。特に1st-Sの課題であった得点力が改善され、ここまでの3試合全てで複数得点を挙げている。総得点ではリーグ2位につけており、守備陣が復調すれば更なる上積みも見込めるはずだ。

ステージ序盤とはいえ、マルヤスが勝てば首位に躍り出る可能性もある好カード。荒武者ラインメールに対し、三河武士マルヤスは団結力で挑む。

[今節のホールパーソン]熱田高校サッカー部の皆様
試合運営へのご協力、誠にありがとうございます。

日本の重要湿地 五〇〇 八甲田山湿原群

青森市内の八甲田には多くの湿原が点在している。その中で最大面積を持つのが田代平湿原。市の天然記念物であるこの湿原は、火山活動により生成されたカルデラ湖が湿原化したものだ。雪解けとともに様々な高山植物が顔を覗かせ、訪れる者を楽しませてくれる。

一方で、この付近は悲劇の地でもある。映画「八甲田山」で有名な「八甲田雪中行軍遭難事件」では、田代を目指した多くの兵隊が命を落とした。色鮮やかな花々は、非業の死を遂げた若人たちにも安らぎを与えているのかもしれない。

日本の重要湿地 五〇〇 藤前干潟

港サッカー場のある稲永公園は藤前干潟に隣接している。

渡り鳥の飛来地として知られる藤前干潟は、平成14年に鳥獣保護区の指定を受け、同年ラムサール条約に登録された。稲永公園内のビクターセンターでは藤前干潟について学べる他、野鳥観察館ではバードウォッチングで季節を感じることができる。港サッカー場にはこんな楽しみ方もあるのだ。

だが、藤前干潟には不法投棄や漂流ゴミが多い。貴重な自然環境を守るためにも、県民全体で保護意識を共有する必要があるだろう。

今節のイベント紹介

「さくらチアーズ登場」

・お出迎え

刻 14時30分～15時

於 スロープ付近

・パフォーマンス披露

刻 15時10分～

於 ピッチサイド

「ケータリングカー出店」

於 スロープ付近

「1st S写真展」

於 コンコース

「選手と遊びう企画

レオのポルトガル語クイズ」

刻 14時30分～15時30分

於 コンコース

「選手紹介パネル」

質問 リオ五輪で活躍を

質問 期待する選手は？

於 コンコース

※イケザえもんは地元愛知の

鈴木亜由子選手に期待

本日のウエルカム

ミュージック

毎度おなじみ流浪の企画、ウエルカムミュージックです。相手チームの選手紹介時に、そのチームに関連のある音楽をBGMとして使用します。本日は青森市の、青森市による、青森市のための一曲を選出。青森の街や自然を思い浮かべながらお聴き下さい。

次回主催試合 平成二十八年七月十六日

対 アスルクラロ沼津 戦

於 名古屋市港サッカー場



制作・文責
スタジオム
母子芸人
イケザえもん

一粒であなたを守る

賢心

第二類医薬品

藤井模範堂



カテキン1000mg配合！

ゴマザワ

熊のマークの大勝薬品

蹴球商店

SANO



twitter
ikezaemon01